

龍ヶ崎ゲヴァントハウス 特別企画
講演とコンサート
モーツァルト “伝説の録音” を聴く

本年の締めくくりを飾る、特別企画として、音楽・オーディオ界の第一人者、元フィリップス・レコード・オランダ本社副社長、新 忠篤氏をお招きし、「モーツァルト “伝説の録音” を聴く」と題して、講演とコンサートを行います。

新氏は月刊「ラジオ技術」及び、季刊「管球王国」等に執筆され、オーディオ界では特にその名を知られた存在であります。飛鳥新社が創立35周年を記念して出版した、モーツァルト “伝説の録音” が、今話題になっています。この企画はモーツァルトのSPレコードの名演奏、名録音を体系化したもので、CD36枚、書籍3巻という、世界初となる大型企画で、この編集を担当されたのが、新 忠篤氏と大原哲夫氏です。

今回の企画で使用されたSP盤は新氏所有のもので、氏自身が開発した「SPレコード再生用イコライザー」を通したDSDレコーディングにより、最高の音質で復刻されております。

生涯のくくりとして企画制作したという、モーツァルトの「伝説の録音」が新氏の熱い語りと共に蘇ります。なお、この企画の概要は、ホームページでご覧になれます。

<http://www.asukashinsha.jp/mozart/>

日 時：2014年12月13日(土) 午後2時～午後4時30分(休憩10分)

場 所：龍ヶ崎シヨッピングセンター「リブラ龍ヶ崎」2階旧映画館

講 師：新 忠篤氏(オーディオ研究家、元フィリップスレコード・オランダ本社副社長)

テーマ：モーツァルト “伝説の録音” を聴く

~~~~~ プログラム ~~~~~

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調K.219 第3楽章よりメヌエット  
ジュール・ブーシュリ(vn) / ルイ・ディエメール(p) (1906年録音)

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調K.216 第1楽章  
プロニスワフ・フーベルマン(vn) / イサイ・ドブローウエン & ウイーン・フィル(1935年録音)

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調K.219 第3楽章  
アドルフ・ブツシュ(vn) / ブツシュ室内管弦楽団(1945年録音)

モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ第28番ホ短調K.304  
ヨーゼフ・シグティ(vn) / ニキタ・マガロフ(p) (1937年録音)

モーツァルト：弦楽四重奏曲第19番ハ長調「不協和音」K.465 第1楽章、第3楽章  
カペー弦楽四重奏団(1928年録音)

モーツァルト：ピアノ協奏曲第20番二短調K.466 第2楽章  
ブルーノ・ワルター(p/指揮) / ウイーン・フィル(1937年録音)

モーツァルト：交響曲第39番変ホ長調K.543 第3楽章  
エーリッヒ・クライバー指揮ベルリン国立歌劇場管弦楽団(1927年録音)

モーツァルト：歌劇「魔笛」K.620より夜の女王のアリア “復讐の炎は地獄のように我が心に燃え”  
エルナ・ベルガー(sop) / トマス・ビーチャム & ベルリン・フィル(1937年録音)

モーツァルト：トルコ行進曲K.331～メヌエット二長調K.355  
ワンダ・ランドフスカ(hpsc) (1947年録音)

モーツァルト：すみれ K.476  
エリーザベト・シューマン(sop) / ジェラルド・ムーア(p) (1945年録音)

モーツァルト：レクイエム K.626 から  
ヨーゼフ・メスナー & サルツブルク大聖堂合唱団・管弦楽団(1931年サルツブルク大聖堂ライブ録音)